

# 新年のご挨拶

会長 大岡成一

新春のお慶びを  
申し上げます。



早いもので、ボランティアグループ槻輪（愛称・V G 槻輪）は、設立して7年目に入ります。IT業界の方からみれば、青年期を過ぎ、壮年期に入るのではないでしょう

か。会報誌の「V G 槻輪だより」は、毎月欠かさず発行され今回で75号になりました。会報の原稿は、皆様から頂き、書記の方の献身的な働きによって発行することが出来ています。

「V G 槻輪」のホームページも会の設立時に立ち上げ開設しました。会の活動内容は、常にインタ

ーネット上で予定を含め公開しています。ホルダー数で約300、ファイナル数で1万近くになっていきます。他の団体にはない大型の充実したホームページではないかと自負しています。

二〇一〇年度からは、V G 槻輪の会員及びパソコン受講者の協力を得て、「とけいそう」というコラムを開設し、早くも50件近くを投稿して頂きました。

これも会員の皆様から原稿を頂き充実していったもので、これからも皆様の原稿をお待ちしています。

「わがまち紹介」は、私達が住んでいる“まち”を会員と訪問し関係者のお話をお聞きし、会報やホームページで広く紹介しています。これも毎月原則第3木曜日に開催していますので、会報と同じ回数になりました。

今後は、今まで紹介した場所も深みをまして紹介していきたくと思っています。内容を広めていくために、第3木曜日のみでなく広く計画したり、公共の交通機関のみでは

行けない場所に足を伸ばしてみることなどを考えて行きたいと思っております。更に、他の団体との共同開催も考えたいと思っています。

会員皆様のご意見・要望をどんどん提言して下さい。

パソコン教室では、清水コミセンの受講者だけでも100名近くになりました。いつも受講者に安心して受講していただき満足をして頂くために、クラス担任の先生を決め、パソコンをより身近に感じて頂き、学びやすい環境を作ろうと努力しています。

パソコン教室（初級）終了者には、パソコンをより身近に使用して頂くために、OB会を結成し中級クラスを開講しています。この教室では、写真の加工やインターネットの活用、新聞・会報やチラシ等の作り方など、実用性を重視した内容で開講しています。どのクラスも少人数で複数の講師で指導をしています。

今後は、パソコンOB会修了者の要求にどの様に応えて行くかの課題に取り組んで行きます。今後も継続して、清水コミセンのパソコン教室を開講してまいりますので、お友達など新しい受講生のご紹介をお願いいたします。

生活支援活動は、高槻市市民公益活動サポートセンターのマッチング事業の支援活動で、継続を予定しています。

二〇一〇年度には、坂本副会長の紹介と協力で、パソコンへの入力作業を会員の協力を得て行いました。

夏場には、高槻地域生活総合支援センター“ふれいすBe”の散水活動に多くの会員の方の参加を得ました。

ふるさと農園は、自然栽培の農園を開園して3年目になりました。やとと土作りが進み、これから本格的に技能を磨き収穫時期に入るのではないのでしょうか。

NPO協働フェスタは、二〇一一年一〇月一五日高槻市生涯学習センターで開催することが決まっています。開催内容については新年度に入ってから検討しますので皆様のご意見をお願いします。

新しい活動については、皆様のご意見を聞きながら取り組んで行きます。建設的なご意見をお願いします。

これからお互いに体に気を付け、元気で活動していきましょう。

## とけいそう

八阪神社は古来より神が村人と共にお住ります所。バス停原から山沿い南へ300m、大木に囲まれ静かに神様はおわします。社殿は小さく社務所もなく集会所がある



所があるだけ、そこから地区の人達が会合を持たれているらしく声が聞こえてきてほっとした。まさに地域の人達に支えられている風情の原の八阪神社。起源は寺伝によると期限9世紀頃とか、毎年4月始めの大蛇祭と石槽で有名。この石槽は槽穴が最小とかで大阪府下指定文化財指定。最小如何は私にはわからない。石風呂として祭祀に使わ

れたらしいのは芥川街道のお寺でもあったその古さに納得。この神社には6種の指定古木があつたらしいが、今は3枚の名札のみ。それも残株でカバーがしてある。社殿の横に樞（かや）の巨木があつたのを思い出したが見つからない。集会所から出て来られたご年配の方に聞いてもわからない。さらに探すところから倒れ土と同化するごとく苔むしていた。何と大きい根っこ。残念至極だが残株の一つツブライジから新枝が木立を垣分け太陽の光を求めて一心に伸びている。社殿の瓦の流線模様の斬新さと灯籠の苔の対比が面白い。人も自然も新旧混合でいきいきしたいものです。 S・U

